

VIEW

「相互チェックの喚呼」で安全が確立される?!

田中車両部長の訓示で何がなんでも「声だし」を実践!
「喚呼」ありきの検査では安全は守れない!

6月16日の健康診断終了後「後確認の重要性」の教育が行われました。その中で会社は、今後「台車の相互チェック」時に「ダンパーヨシ」「給油栓ヨシ」など「B担とC担が喚呼し相互チェック」を行うよう説明を行いました。

しかし「教育」に参加した社員からは、「今まで現物チェックがおろそかにならないようあえて黙って相互チェックをしてきた」「順番を間違えないように喚呼に気をとられチェックがおろそかになる」「ドアテストならともかくほこりぼい床下で口をあけるのは安全衛生上問題があるのではないか」等をはじめ多くの意見が出されましたが、会社は「決まったことでやってもらいます」の一点張りでした。

田中車両部長にウチの所でも「声だし」をやりますのアピール?!

4月26日に田中車両部長が来所した際の訓示で「これからは声だしをどんどんやっていく」ということが言われていましたが、今回の「喚呼」は車両部長にアピールするためのものなのでしょうか。現場の実態・社員の声を無視した今回の「相互チェックの喚呼」は逆に「不安全」です。現場では、「チェックシート」や「検査の方法等」でまだまだ不備があります。「喚呼」等の前にもっとやることではないのでしょうか。

現場で働く皆さんどう考えますか?!